

名前のない新聞の置いてある

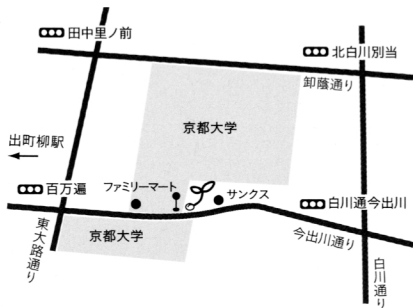
お店紹介

福島から京都に避難してきた
美人姉妹のベジカフェ

TOSCA



〒606-8824 Tel.075-721-7779
京都市左京区北白川追分町67-7 1F
京大農学部前 出町柳駅より歩15分
営業時間：11:30~22:00
定休日：日・月曜（日曜貸切応相談）
E-mail：tosca.kyoto@gmail.com
HP：http://tosca-kyoto.com/



本誌の去年9月号に、福島県いわき市で長年マクロビオティック（食養）の研究実践を行なってきた橋本宙八さんに寄稿していただいたのを覚えている方も多いただろう。橋本さんたちは原発事故直後に家族で避難し、1000キロにわたって各地を渡り歩いたという。その後、去年の7月に2人の娘たちと1人の息子が縁あって京都の学生街でオーガニック野菜と自然調味料の創作料理のカフェレストランを開いた。「トスカ」という店の名前は朋果（ともか）さんと明朱花（あすか）さん姉妹の名前をくっつけたものだそうだ。

福島からの避難者がそんなにすぐにお店を持つに至ったのには、様々な偶然というか必然とも言えるような事情があったようだ。一つは震災以前から姉妹で料理の本を出す計画が進んでおり、状況は変わったが様々な縁で実現して5月に出版の運びとなった。それが「SOUP」（橋本明朱花+橋本朋果著/学陽書房刊/¥1600）で、すべて植物を素材とした40種類に及ぶスープのレシピ本だ。題材にスープを選んだのは、それが赤ちゃんからお年寄りまで人生で一番長くお世話になる料理だからだという。

そして出版後、京都でスープの料理教室を開いたのがきっかけとなり、ちょうど閉店したイタリアンレストランのオーナーから、その店を使ってみないかと声がかかったのだそうだ。世の中（人生）うまくいく時ってこんなふうにとんとん拍子で進むものなのだろう。

取材の折にランチをいただいたが、日替わりのメニューはシンプルだがおいしいおかしが何種類も並び、ボリュームもたっぷりあるので若い学生も満足できそうだ。またカフェやデザートメニューも充実。

店は京大の農学部正門のすぐ横にあり、学生や教授、外国人、近所の人たちと幅広い客層が来ている。間口はそれほど広くな



広々とした店内



TOSCAランチ

いが、店内に入ると奥行きがかなりあって、日曜日などにはトークやコンサート、朗読会など様々なイベントスペースとしても利用されているという。

京都に行ったら食事時でもお茶を飲みにでも、ぜひ寄ってみることをお勧めします。

★人と自然とごはんと・をテーマに作った本。次作は「井もの」にしよるか姉妹で話してました。「インフオーメーション」よりインスタピレージョン」がモットーだそうです。

